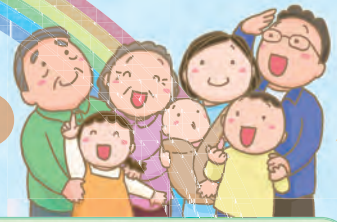


町教育委員会では、児童生徒の「生きる力」を養うため、学校や家庭、地域とともにさまざまな取り組みを行っています。「夢ある子どもを育む那須の教育」について12回シリーズでお伝えします。

夢・感動通信

町独自の教育課程編成「NA i SUタイム」がはじまります！

No.3



「人間関係プログラム」は「NA i SUタイム」の3つの内容のうち、人間関係づくりの基本的なスキルを学習することができるとのことです。「どの子にも居場所がある」「安心して自分らしさを発揮できる」「他者との関係をよりよく築くことができる」ような魅力ある学校づくりを実現するために、平成25年度からプログラムを実施しています。

小学校1年生から中学校3年生で実施するため、学年に応じた4つのエワササイズを掲載したテキストを各学校に配布しています。

プログラムの目標

- ・人間関係づくりのスキルを理解し、習得する。
- ・お互いに自分の意志を伝えるためのスキルを習得する。
- ・自分を取り巻く環境から受けるストレスに対して、自分の中で適切に対処・対応していくスキルを習得する。
- ・習得を目指す4つのスキル

① 出合いのスキル(出合い)
② 相手の話を上手に聞くスキル(聴き方)
③ 自分の意見や考えをはっきり伝えるスキル(自己表現)
④ 自分の気持ちをコントロールして対応するスキル(自分の気持ちへの対処・対応)



▶黒田原小学校での様子
小学校高学年では日常生活の友達とのやりとりを例に拳甲、「3つの態度(モジモジさん・ガミガミさん・さわやかさん)」を通じて自己表現を学びます。相手も自分も大切にしながら、自分の気持ちをしっかりと伝える「さわやかさん」になるには、どんな言葉を使えばいいかを考えました。

「人間関係プログラム」では、多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にすることの育成を目指します。未来を担う子どもたちが生き生きと主体的に活動することができるよう取り組んでいきます。

次回は、「防災教育プログラム」についてお伝えいたします。

▼問合せ 学校教育課学校教育係
☎72-6922

那須のいろいろなおいしいものを、作る人の思いも一緒にご紹介。

ほっとひと息



自宅で美味しいコーヒーが楽しめるよう実演で淹れ方を教えてくれます。



店の入り口ではおひさま色のポストがお出迎え♪



豆の膨らみ具合とパチパチと爆ぜる音で焙煎具合を見極めます。

「コーヒーの味が決まるのは、6割が生豆の質、3割が焙煎方法、淹れ方は残りの1割」と話すのは、6年前にオープンした「おひさま堂珈琲焙煎部」の大橋宏さん。26種類以上の厳選したコーヒー生豆を取り揃えて、好みに合わせてその場で焙煎し販売しています。

また、那須の自然をイメージしたオリジナルブレンドが那須ブランドに認定され、販売されています。「町にコーヒー文化がもたらされるように」という願いが着々と実を結んでいます。

川崎市で生まれ育ち、電気通信の技術者として大手企業に長年勤務した後、妻の悦子さんと本町に移住。大好きなコーヒーの知識と焙煎技術を身に付け、移住と同時に店舗をオープンさせました。

悦子さんは読書アドバイザーとして県内で活躍しており、その縁で宏さんも昨年、町図書館と連携し、コーヒー講座を開催したそうです。講座はとも好評で4月にも開催予定とのこと。興味のある方は是非ご参加ください。



珈琲焙煎士の大橋宏さん
おひさま堂には絵本の古本を販売する書籍部もあります。

